

あなたの手を、世界の誰かに。



2016年10月24日

セカンドハンド通信 NO.86

公益社団法人 セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp <http://2nd-hand.main.jp/>



職員の視察渡航(8/26から約2週間)に、フォスターペアレント1名とセカンドハンド・ユースから1名が同行し、カンボジアに行ってきました。今号ではそこで見てきた支援先の様子を中心にお知らせします!

教育支援

スラムの子ども達にピアノ力を!

首都プノンペンの北西部に位置する線路沿いのスラム街には、強制移転によって引っ越してきた人々を含む約200世帯が居住しています。多くの世帯は収入が少なく、学校に通うことができない子どももたくさんいます。子どもたちは、近くの大きな交差点まで出て来て、車の窓を勝手に拭いてお金をせびるようなことをして生活していました。

「この子達に少しでも何かを楽しむ機会を与えたい!」と、現地のNGOで働くボレットさんが自前のピアノ1台とドラムスティックを持ち込んで指導を始めたところ、子どもたちは見様見真似でスティックで地面を叩き、音楽を楽しみはじめました。また、親同士の交流の機会も増えました。そんなボレットさんの活動を支援するため、セカンドハンドに提供されたピアノ10台と、チャリティーショップでお買い物をする皆さんに支援を呼びかけ集まった支援金で購入した新しいホー

ス15本を子ども達に寄贈しました。

これまでは紙に書いた鍵盤で練習をしていた子ども達。その練習の成果を、さっそく新しいピアノ力で聞かせてくれました!まだ触りなれないピアノ力で、たどたどしくも力強く、一曲聞かせてくれた子ども達の姿は、とても頼もしく見えました。

今後、鉄道は複線化され、さらに線路上に高架道路をつくる計画も進んでおり、再び強制的な住民移転が行われる可能性もあります。ボレットさんは「子ども達へのピアノ力指導を通して、親同士・住民同士の交流の機会を増やし結束を高めていきたい。親同士・住民同士の結束は、今後確実な保障を求めて団体で交渉をするためにもとても重要になってきます。」と語ってくれました。

支援にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました!



ボランティアの皆様とピアノの汚れを落としました!



ピアノ指導をしてくれるボレットさん(左上)と子ども達

支援金は引き続き募集しております。同封の払込取扱票にてご寄付の際は、メッセージ欄に「ピアノ力支援」とご記入下さい。お手元に払込取扱票がない場合はセカンドハンド事務局へお問い合わせください。



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集めれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

医療支援

カンボジア・スヴァイリエン州へ専門家派遣

8月2日～9日の約1週間、カンボジア・スヴァイリエン州へ専門家2名（つるぎ町立半田病院の大久保医師と四国こどもとおとなの医療センターの診療看護師の宮下氏）を派遣し、研修と技術試験の他に、ER専用の携帯電話の配布や日本で生まれた業務管理活動「5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）」の講義、CT・エコーについての講義を行いました。

今回の派遣の主たる目的は、救急対応の基本の講義と、日本で研修を受けたカンボジアの指導者たちが周囲の医療従事者に知識や技術をいかに指導していくかを確認することでした。研修、技術試験を実施した大久保医師より、「今回の訪問では、日本で研修を受けた指導者たちの意識の変化や実践能力が確



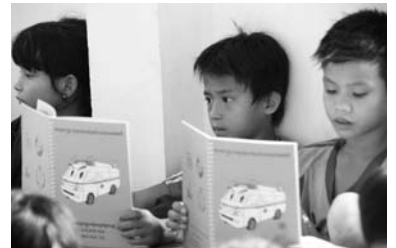
指導者として研修を行うカンボジア人医師ら

認できたことは大きな収穫だった。彼らには、先頭に立ってスヴァイリエン州の救急医療体制を整備していく能力やモチベーションが十分にあると感じる。」との報告を

受けました。3年目となる本事業で確実に育っている指導者らへの期待が高まります。

また、2013年度にセカンドハンドの支援により建設されたコミュニティセンター（C-rightsによる「児童労働防止プロジェクト内」で、ファーストエイド（応急処置）のワークショップも実施しました。これまで応急処置法について学んだことのない約80名の子どもたちが集まり、実施後のアンケートではなんと80名全員が「これまで、傷には醤油をつける、火傷をしたら歯磨き粉を塗るという方法で処置をしていた。今回の研修で初めて正しい知識を得た。」と回答しました！

今回の専門家派遣は11月中旬を予定しています。本事業最後の派遣となり、3年間の成果を見届けるため、資機材管理のチェックや最終試験を行います。



配布したハンドブックを真剣に読む子ども達

※本事業は高松市と協働で実施しているJICA草の根技術協力事業「救急医療における人材育成を通じた国際協力（カンボジア）」の一環で行った。今年が3年目（最終年）となる。

教育支援

トバエンブナウ小学校 視察報告

前号でも完成の報告をしたトバエンブナウ小学校ですが、「ぜひ子どもたちが教室を使っているところを見てみたい!」ということで、カンボジア視察渡航の際に日程調整し、再びプレイベン州まで足を伸ばしてきました。

この日は日曜日でしたが、校長先生はじめ、全校児童が大集合。模擬授業も見せてくれ、習いたての歌も披露してくれました!「将来の夢は?」との質問に、6年生の子ども達からは、画家、教師、医師など夢溢れる答えが返ってきました。

トイレも新しく1棟建設しました。生活指導・衛生指導に、トイレは重要な役割を果たします。女の子の中には学校にトイレがないことを理由に中退してしまう子が多くいます。物心が付いた女の子が、友達の前で用を足したり、男女兼用の便器を使用したりする

ことは、とても心理的負担が大きいものです。今回トイレを増設したことで、男女別に使用ができるようになりました。

皆様のご協力のおかげで、多くの子どもたちが安心して学校へ通い、夢を叶える可能性を広げることができました。ご支援・ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



「あいいうえお」を学ぶ子ども達



幼児クラスで日本語の「こんにちは」を教えました!

緊急支援

エクアドル地震



388,605円(10/8現在)のご寄付を
エクアドルへ届けました!

当初、エクアドル地震支援金の受付は7月末までとしていましたが、現地で聞き取り調査を行ったところ、新たに支援が必要な地域(カノア:震源地から直線で約130Km南西に位置)があると現地から要望があったため、引き続きご寄付の受付を行うことといたしました。

現地で活動続ける内藤智子さん(青年海外協力隊員)からのコメント

地震発生から、すでに5ヶ月が経過しましたが、現在も避難所や仮設住宅で暮らす方が多くいらっしゃいます。多くの方々から支援金をいただき、現地での支援を私達に任せてくださることに感謝いたします。今後も、継続的な復興につながる支援、被災された方の糧になれるような、被災された方の自助努力を支援したいと考えています。

聞き取り調査を行ったカノアでは漁業で生計を立てている人が多く、「地震によって魚網が使えなくなったり、地震後に魚網が盗まれたりした。仕事が再開できるように魚網を支援してほしい。」との要望が

ありました。地震によって働くことができなくなった漁師たちが漁を再開できるよう、魚網を支援するべく動いています。皆様のご協力よろしく願いいたします。

※現地からの詳細な支援報告はセカンドハンドのウェブサイトでご覧いただけます



カノアでは現在も多くのの方がテント生活を続けています(10/8現在)

エクアドル地震緊急支援金へご協力いただける方は、同封の払込取扱票のメッセージ欄に「エクアドル地震緊急支援」とご記入ください。お手元に払込取扱票がない場合はセカンドハンド事務局へお問い合わせください。

熊本地震



1,476,996円のご寄付を現地へ
届けました!



元気の森かじかでのキャンプの様子

8月17日に熊本を訪れ、一般社団法人アイ・オー・イー(以下IOE)が行う被災者支援プログラムに同行してきました。IOEは、自然の中で心と体を癒すことを目的に、被災した子どもたちの心のケアとしての自然体験キャンプ等を提供しています。セカンドハンドでお預かりした寄付金は、被災した子どもたちの参加費やキャンプの運営費などに充てられています。

今回視察したキャンプ(8/16~18の2泊3日)の参加者は小学校1年~3年までの38名、そのうちの10名が被災地からの招待でした。招待者は、被害の

大きかった地区にある益城町立飯野小学校より希望者を募って決定されました。

招待された子どもの保護者は、「震災後、私と離れて寝ることができなかったため、参加できるかとても心配でしたが、勇気を出して送り出しました。お迎えの時、笑顔で『楽しかったーっ!!』と帰ってきた子どもの様子を見て、安心しました。子どもだけでなく、親の私にとっても良い経験になりましたし、前向きになれるきっかけにもなりました。本当に参加させてよかったです。」と話してくださいました。

IOEは今後、いただいた寄付金をできるだけ多くの子ども達に還元できるよう1泊2日の防災キャンプを開催することも検討しています。ご寄付でご協力いただきました皆様、本当にありがとうございます。



フォスターペアレント
西川さん

セカンドハンドの
フォスターペアレント
として13年間、支援を
して下さっています。
岡山で自営業を営まれ
ていましたが、この春
に閉店。そこで思い
切ってフォスターチャ
イルドに会いに行っ
てみることに!

しばらくここに暮らしたら
私だって弾ける小麦色だよ。



つないだ手を見比べて、「親子なのに
色がぜんぜん違う〜笑」と、スライレ
アちゃん。



「鶴の作り方を
教えて〜!」



将来、大学に
行って教師か
会計士になり
たいと語って
くれました。



指導も包容もあるスライレアに
教師は天職だよ!
私は出来る限りの応援をするよ。



贈られたプレゼントに大喜び♪

カンボジア ルンルン滞在記

〜里親の西川さんがカンボジアの小さな孤児院で里子のスライレアちゃんに出会った!〜

2016年9月1日

フォスターペアレントの西川さんがカンボジアを訪問し、フォスターチャイルドであるスライレアちゃんと初めての面会。



バタンバン州にある孤児院「ホームランド」を訪問。夕方に施設に到着したこの日は、施設見学。職員のラタさんに案内され、孤児院の様子を見て回ります。

…とその時!

チリンチリン♪と軽快に鈴を鳴らして、スライレアちゃんが颯爽と自転車で登場!! 会うのは次の日を予定していたので、一同びっくり!



えーっ!
えっ? えっ? えっ?



平常心を取り戻した後の渾身の一枚!



感動の初対面! 突然の出来事に
慌ててしまいました...

大きくなって、逞しくなって。
でも顔は小さいと真のまんま。
声もしっかりしてるし。
目が真っ直ぐと賢そうなお子じや。
しかもで〜れ〜美人!

里子のMao Sreyleak
(マオ・スライレア) ちゃん

2008年から西川さんの里子
になった現在15歳の女の子。
英語の勉強とサッカーが大好き♪



ごはんをよそってくれたり、
とっても気配りの子。
ごめん、小豆入りのデザートは
「お腹いっぱい」って断って。
(ほんまは甘いもん苦手なんよ ㊂㊂)
いつか大人になったら一緒にビール飲もうな!



スライレアちゃんの下宿先を訪問。

ホームランドの二段ベッドよりは
独立性があって勉強できる環境かも。
下宿先のおばさん!
今まで可愛がってくれようってんじやろな〜?

「帰ってほしくない
...もう少しいて欲
しい...」といつまで
も西川さんの手を
握っているスライ
レアちゃん。



立派に成長している姿を見られて
本当によかった。
この子ならきっと大丈夫。
また来るよ。
岡山にもぜひ来られ。
お父さんも会いがっとうるよ。

帰国後、「今回ご一緒させて頂いて、スライレアちゃんも、ホームランドの子供たちも、ブノンペンやバタンバンやシェムリアップの街も、そしてカンボジアという国もとても身近に感じられて、以前とは随分違う印象になりました。他のペアレントの方たちにも事情が許すならばぜひ行って、見て、触れて頂きたいと思いました。本当に良い機会を与えてくださったと感謝でいっぱいです。」と語ってくださった西川さん。ホームランドでの2日間、二人はずっと手を繋いでまるで本当の親子のように過ごしていました。二人を見ていると、カンボジアと日本、距離は遠く離れていても、手紙や写真のやり取りで心は繋がっていたんだと感じます。支えてくれる誰かがいる、成長を見守りたい誰かがいる、そんな二人の互いを思い合うやさしい気持ちが溢れる時間になりました。

フォスターペアレント制度のしくみ

支援金 → ホームランド

(子どもの生活費や各プロジェクト)

・年2回子どもからのレポート
・ホームランドからの年間報告書

里親



子どもへのお手紙やプレゼントも可

金額:
1ヵ月 3,000円、
5,000円

支援されることで子どもは、精神的に強くなってきているそうです。社会から見放された子どもたちにとって「誰かが自分のことを気にかけてくれている」それだけで、心の支えになります!

詳しくは、セカンドハンド本部事務局
087-861-9928
jimukyoku2hand@yahoo.co.jpまで



セカンドハンドからのお知らせ

新しい倉庫兼店舗を探しています！

これまで食器、雑貨、子供服などの在庫や、大型家具、バザー用の什器などを保管していた多賀町倉庫が、契約満了となり7月末をもって引っ越しました。多賀町倉庫は4階建てで、その中にぎっしり詰まった品物や什器を運び出す引越しは、大変な作業でしたが、ボランティアの皆様の応援のおかげで、無事に期限までに作業を終えることができました！

現在、仮の倉庫に品物や什器を保管中ですが、年度内に、倉庫を併設する新店舗を借りるべく、物件探しを行っています！

●希望条件

- ・所在地：高松市周辺
- ・使用部分面積：のべ300㎡ぐらい
- ・階 建：できれば平屋
- ・駐車場：有り（5台以上）
- ・賃 料：できる限り安くお借りしたいです！

条件に合わないものでも、こんな物件あります！など情報があればぜひお知らせください！

フェアトレード商品のオンライン販売始めました！

これまで、高松店・片原町店や、全国で協力販売をしてくださっているお店、またはイベント出店時にしか購入できなかった、カンボジアの女性たちの自立に繋がるフェアトレード商品（手作り雑貨）。この度、オンライン通販で購入可能になりました！

オンライン通販のページは、

①URL <https://2ndhand.theshop.jp> の入力

②右下のQRコードの読取

③セカンドハンドのウェブサイトの「フェアトレード商品購入はこちら」のリンクをクリック

のいずれかの方法でアクセスできます！順次アップデートをしていきますので、ぜひ一度ご覧ください。



たくさんのかわいい小物雑貨



通販ページのQRコード。
スマートフォン等で
読み取ってください！

YOU倶楽部 チャリティーパーティー

今年も7月10日に名古屋でYOU倶楽部主催の、『世界の子どもに愛の手を』～頑張ろう東北・熊本！復興支援チャリティーパーティー～が行われ、17万円をセカンドハンドに寄付していただきました。毎年約100人の会員が参加される盛大なチャリティーパーティーで、集まった寄付金をセカンドハンドの活動にご寄付いただいています。高木会長様、会員の皆様、ありがとうございました！

SPECIAL THANKS



7/1～9/30までの3ヶ月間にご寄付などご協力くださった方々です。その他にも様々な形でご協力くださった皆さまありがとうございました。

【寄付者】栗飯原治仁、相原裕美、青野千恵子、伊賀憲子、入江治子、浦田榮二、大谷芳見、岡崎城西高校英語部、ガデリウス・ホールディング株式会社、川崎多恵子、川田貴美子、喜多和也、木村明仁子、葛井昭彦、近藤温子、酒井恵津子、シュリエン公子、白川ふみ、大光菊江、高際淳、高松東高校マンガ研究部、田中満子、谷森裕子、塚田泰代、のぞみ綜合法律事務所、林陽一、東近江キリスト福音教会、福岡奈織、藤原和子、ふたばのこころ、升崎里美、松島知子、松原志乃、溝渕広史、美濃吉広、宮瀬星織、宮本明宜、山下英城、YOU倶楽部、横田千春、吉田正強、ヨスタ・ティレフォーシュ、吉本房子、米倉逸克、渡部夏香

【その他】コスモテック株式会社、後藤裕、西條一美、鈴木理恵、高倉恒三、永井敬子、天勝丸亀店、百十四銀行高松市役所支店、和力フェヴ、深沢幼稚園

〈敬称略〉



各地でひろがるセカンドハンドの輪



セカンドハンド北海道

12月3日(土)、北海道内の国際協力団体が協働でつくる「国際協カフェスタ2016」にセカンドハンド北海道が出展することになりました。以前は屋外で開催されていたイベントですが、3年前から市内中心部、大通駅から札幌駅を結ぶ地下歩道で行われ、内容もNGO団体ブース、パネル展、ステージパフォーマンス、トークショーにワークショップなど盛り沢山です。他団体や市民の方々との交流を楽しみにしています。

セカンドハンド・ユース

こんにちは、気がつくとメンバーが30人を超えていたセカンドハンド・ユースです！

7月から9月までの活動としては、勝賀中学校の生徒との募金活動や毎月1回行う定期街頭募金を行いました。また、メンバーの一人がカンボジア視察渡航へ同行しました。(視察報告はページ下↓)カンボジアの新学期は10月から始まります。今年度(2016年10月～2017年7月まで)は、計5名の奨学生を支援することが決定しました。視察渡航で奨学生達に会いに行った際には、「ユースの支援のおかげで学校へ通えた」と感謝の言葉と共にたくさんのお手紙をもらい、改めて自分たちの活動がしっかり生かされていることを知ることが出来ました。



Tシャツに書いたメッセージと手形の交換もしました！

《お知らせ》

11月6日(日)に香川大学直島地域活性化プロジェクトとのコラボ企画として、直島の「和カフェぐう」でイベントを開催します！また、11月6日(日)～11月27日(日)の土日は、1日限定10杯でカンボジアコーヒーを販売します！^^ぜひ、お店にお越しください。ちょうど瀬戸内国際芸術祭も開催中です。(11月6日まで)

香川大学直島地域活性化プロジェクト

セカンドハンド・ユース × コラボイベント

【日時】 11月6日(日) 11:00～17:00

【場所】 和カフェぐう(香川県香川郡直島町本村836)

【内容】 ・カンボジアの生地を使った
バッチ作り体験：一回100円
・タイさん(カンボジア人留学生)に
カンボジアのことを聞いてみよう！
・カンボジアのクラフト品
(フェアトレード)の販売

全ての収益は、カンボジアの学生の奨学金支援に充てさせていただきます。

カンボジアでの経験

セカンドハンド・ユース 渡部夏香(高松大学4年生)

カンボジア渡航のお話をいただいた時には迷わず参加したいとお返事しました。自分の目でカンボジアの今の状況を見たかったからです。

カンボジアではたくさんの刺激をうけました。中でもセカンドハンド・ユースが支援をする奨学生との交流が印象的でした。その日は、15人の学生たちが私たちを迎えてくれ、コーヒーゼリーを一緒に作ったり、ダンスを教えあったり、日本に居るユースメンバーとビデオ通話を行ったりと、たくさんの交流をしました。彼らとは英語で会話をしていましたが、首をかしげながらも、私の拙い英語やジェスチャーを必死に理解しようとしてくれました。改めて振り返っても多くの言葉を交わしたわけで



できあがったコーヒーゼリー♪

も、私の拙い英語やジェスチャーを必死に理解しようとしてくれました。改めて振り返っても多くの言葉を交わしたわけで

はないのですが、彼らのたくさんの思いが伝わってきました。

帰りに奨学生からユースメンバーへ預かった手紙の中で「学校へ行くチャンスを与えてくれてありがとう」と書いてくれている子がいました。もし彼らが学校へ行けていなかったら、このように英語で思いを伝えることができなかったのです。これまで深く考えずに募金活動をしていましたが、本当に役に立つことが出てくるのだと感じました。また、これからも活動を続けて教育に関しての支援をしていくと共に、もっと自分のできることを探していきたいと強く思いました。自分の考え方や物の見方が変わる刺激的な初めての海外経験でした。



アンコールワットも見えました！

Second hand Official Supporter: SOS会員募集

SOS会員はセカンドハンドのファンクラブのようなもの。ファンとして活動を支援してください!お申し込みは同封の払込用紙のご利用もしくは定額自動引き落としもご利用いただけます。お名前、ご住所を事務局までお知らせいただければ、所定の申込用紙を郵送いたします。(セカンドハンドのウェブサイトからもダウンロードできます)

	月々	1年一括
個人	一口 1,000円	一口 12,000円
法人	一口 2,000円	一口 24,000円
学生		3,000円

- ◆皆様への手数料等のご負担はありません。
- ◆会費は寄付金控除の対象となります。
- ◆特典：報告書などの無料送付
カンボジア商品の割引購入
主催コンサート時の優待席確保 ほか

通信発送について お知らせとご協力のお願い

昨年度よりセカンドハンド通信の無料発送を年2回(4月・10月)としております。ただし、年間1,000円以上のご寄付をいただいている方、商品提供者、SOS会員には、引き続き年4回無料でご送付いたします。読みやすく、成果がみえ、学べる通信を目指して制作しております。制作・郵送費カンパとして年間1,000円以上のご寄付で応援してください!

余ってませんか?提供してください!

白コピー用紙・色コピー用紙(どちらもA4サイズ)、水のり・固形のり、ソーラー電卓(表示の見やすいもの)、CDプレーヤー、蛍光灯(メーカーや型番はお問い合わせください)

商品提供の受付

秋物衣類:9月下旬まで

冬物衣類:9月中旬から1月中旬まで

※季節を問わない物に関しては常時受付可

【持込先】セカンドハンド高松店

【送り先】これまでセシールさんに倉庫での荷物受取りをご協力いただいていたが、ご都合によりご協力いただけなくなったため、当面は下記宛に送付お願い致します。受取り場所などが決まれば、お知らせします。

	郵便番号	宛 先	宛 名	電 話
ゆうパック	760-8799	香川県高松市 高松中央郵便局留 高松市観光通1-1-18	公益社団法人 セカンドハンド	087-861-9928
クロネコヤマト	760-0051	香川県高松市田町12-7 ダブルス和田1階 高松田町センター止め		

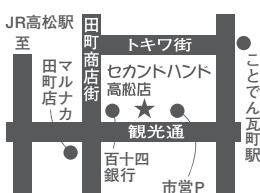
セカンドハンド イベント&ボランティア情報

月々の会計報告書はセカンドハンド店頭に掲示しています。

日 程	内 容	場 所
11月5日(土)~7日(月)	きもの市	けやき市場(片原町店隣)
11月17日(木)	11月のボランティア体験デー	セカンドハンド本部
11月19日(土)~21日(月)	くつ・かばん市	けやき市場(片原町店隣)
12月3日(土)	北海道国際協力フェスタ2016	札幌地下歩道空間(札幌市)
12月3日(土)~5日(月)	冬もの市	けやき市場(片原町店隣)
12月15日(木)	12月のボランティア体験デー	セカンドハンド本部
12月17日(土)	セカンドハンド通信87号発送作業	セカンドハンド本部
12月18日(日)	使用済み切手発送作業&本部大改造・大掃除!	セカンドハンド本部

本部・高松店

■セカンドハンド本部(3F)
■高松店(1F)
〒760-0055
高松市観光通1-1-18
TEL:087-861-9928
営業時間:
月~金 10時~16時
土 11時~15時
日・祝日は定休日



丸亀店

丸亀店は2月末で閉店しました。
高松市郊外・丸亀方面で物品販売可能な空き店舗、空きスペース等探しています!情報をお持ちの方は本部事務局までお知らせください!

セカンドハンドのネットワーク

■セカンドハンド大阪

徳
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

■セカンドハンド北海道

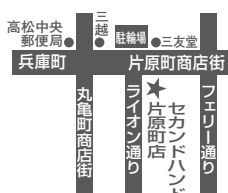
吉田
(Email) 2hand.hokkaido@gmail.com
http://www.facebook.com/secondhandhokkaido

■セカンドハンド関東

阿部
(Email) 2hand.kanntou@gmail.com

片原町店

〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間:
月~金 10時~18時
土・日・祝日 10時~17時



お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支援してください。ボランティア募集!

☆このセカンドハンド通信は3ヵ月に一度発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、年4回会員(SOS会員や商品提供者等)に、その内2回を全国の支援者へ無料で発送しています。購読希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。